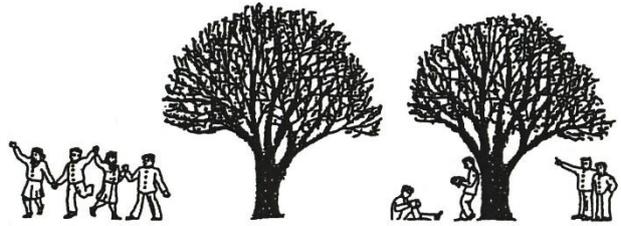


# 2本のケヤキ

第153号 (令和6年10月15日)



10月4日(金)に栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園に行ってきました。毎年この時期に高等特別支援学校校長の会議があり、昨年度は桃花台学園(山梨)を見学しました。その様子は校長室通信でお知らせしたので、今回も会場校である青葉高等学園についてご紹介します。

青葉高等学園は、平成28年4月に開校した栃木県唯一の高等部単独の特別支援学校です。今年で開校9年目になります。校舎は宇都宮工業高校の移転に伴う跡地にあり、周囲は閑静な住宅街に囲まれています。またこの校地には中学校(市立一条中学校)も設置されています。ちょうど2校が校庭を挟むように並んでおり、校庭は両校で共用していると聞きました。

コミュニティショップ「きょうの森」で近隣の方にも販売(飲食も可能)していました。写真にあるように、ショップの



コミュニティショップ「きょうの森」

入口は道路側に面しており校舎とは完全に独立した建物です。ショップの横には一般用の駐車場(2台)があり、開店を待つ方がいらっしゃいました。

またショップは、パン等を作る生徒(家政)と販売・接客



左:青葉高等学園、右:一条中学校 中央の校庭は2校で共用している。

定員は80名で、今年度の在籍は233名、学年10クラスの大規模校です。生徒は宇都宮市を筆頭に日光市、小山市、那須塩原市、足利市...と全県から集まっています。スクールバスはありません。教育課程では2年次から<流通・環境>と<食品・福祉>の2コースに分かれます。専門教科は週に16時間(1,2年)14時間(3年)あり、家政、農業、流通サービス、福祉の授業がコースごとにおこなわれています。時間割を見たところ、週に2日は6時間**すべて専門教科の授業**を行っています。当日は現場実習の直前だったので、専門教科の授業を見ることはできませんでした。写真で学校の様子をお伝えします。

## <食品分野>

今回の見学では食品コースの活動が一番びっくりしました。青葉高等学園はパン・お菓子を作っており、校内の

する生徒(全員)が分かれて作業を行っています。私はお昼の時間帯に行ったのですが、早めの昼食をとった生徒たちが接客をしていました。歩いて10分程度の場所に宇都宮女子高校があり、高校までパンを販売することもあるようです。



パンの作り方と「きょうの森」メニュー

## 〈福祉分野〉

福祉コースは家事援助や高齢者介護に関する実践的な学習をおこなっています。実習室は高校の3教室くらいの広さにリクライニング機能がついたベッドが何台も置かれていました。更に介護用マネキン、倉庫には車椅子が何台もあり設備が充実しています。生徒はお揃いのブルーのシャツで授業を受けていました。(福祉の写真は、最後にまとめておきます。)

## 〈流通分野・オフィス〉

流通コース・オフィス班は校外外で仕事を受けています。たとえば、校内では授業プリントや通知物の印刷を請け負っています。更に校内にコンビニでよく見る商品棚があり、商品が並んでいました。



販売実習室

よく見るとペットボトルの中は水が入っていて、先生が個人で購入したものがここに集めてあります。流通コース購買部が、この「疑似コンビニ」と、校内の自動販売機(1台)で商品管理を行っています。更に近くのコンビニと連携し、事前に注文を取った商品(食品のみ)を購入でき販売しています。今回は10月4日メ切で注文を取り、11月1日に販売する予定と聞きました。

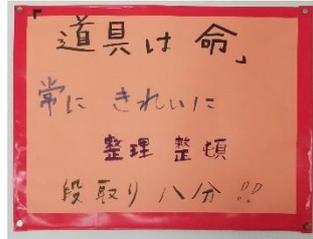


校内を見学して気が付いたことは、各コース・班の活動内容を模造紙(それも手書き!)でよくまとめていることです。これには作業で注意する点がまとめてあり、自分の理解が深まるだけでなく、自分の所属でない班の活動を知ることができます。こういった「見える化」は、本校でも

取り入れたいと考えています。

## 〈環境分野・清掃〉

青葉高等学園も清掃を学ぶ班があります。ビルメンテナンス用の機材だけでなく、ポリッシャー、ウエットバキュームも用意されていました。また1年生は隣の中学校へ実習に行き、2・3年生は県庁やJR宇都宮駅で就業体験を行っています。



クリーニング班の教室で発見(左)、トイレの手順

山梨の桃花台学園も駅や教育センターで実習を行っていたのを思い出しました。

## 〈環境分野・園芸〉

青葉高等学園は工業高校の跡地を中学校と共用で使っているため、体育館や合宿所は継続して支援学校が使っています。半面、畑用の土地がないため、園芸班は花苗の生産を中心に学習をしているそうです。大きなイベントの開催時には、大量の苗木の準備を依頼されたとか…。宇都宮白楊高校とも交流をし、出来上がったスリットバスケットを地元商店街に飾ったそうです。



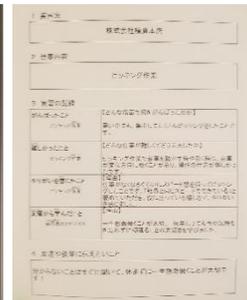
畑がないので園芸班は草花中心

## 〈コース以外のこと〉

社会的自立のため、1年生と2年生は宿泊棟(旧工業高校の合宿所)で下校から翌日登校までの生活訓練を、年に1回行っています。夕食、朝食、翌日のお弁当を作り、洗濯や布団の上げ下げも行います。クラス単位で担任も一緒に宿泊するそうです。

見学後の午後は、各校の情報交換と「専門性の維持向上」と「学校づくりの工夫と課題」をテーマにして協議を行いました。小グループで協議したので、各校の発言の時間も増え、約2時間の協議があつという間に終わってしまいました。

前半の「専門性」では、校内研修の充実や外部専門員の導入（東京都）といった意見が出されました。その中で印象的だったのは「質問の効用」です。校内の授業研修では、どうしても授業者の指導に目が向きますが、ある学校では授業者から見学者へ質問することで、授業の悩みを解決するヒントを得られたようです。「聞いて良かった！」という感想が出たことが、意味のある研修だったという証拠になりますね。また、簡単に取り組める事例として、専門の先生の授業を録画しておき、いつでも見られるように保管しておく案も出されました。これなら、本校でもすぐにできそうです。



就労支援室には、実習報告が壁一面に掲示してある。

後半の「学校づくり」では、多くの意見とアイデアが出ました。就労では、就労移行に目を向けて、生徒に合わせたペースを取り入れていることや、企業の変化するスピードが速くなっているのが、ハローワークと連携を密にとっている、就労先は、「自宅から通える」だけでなく「先輩がすでに働いている（教えてもらえる）」ことも大事なチェックポイントになっているそうです。

また、人口減による生徒募集の苦労なども話題に上がりました。

〈振り返って・・・〉

今年の「山梨」や今回の「青葉高等学園（栃木）」はどちらも開校して10年程度の比較的新しく、各県で唯一の高等部単独の特別支援学校です。そのため、行政との関わりが多いと感じました。（例：ノートパソコンの解体[簡易作業]などは、定期的に物品が届く）学校から働きかけるだけでなく、外部からの協力や問い合わせが多い印象です。近隣地域との関係も多くあり、新型コロナウイルスが明けたことから、学校への依頼も増え全部には対応できない状況だそうです。



宇都宮市と連携しPCが届く。

とにかく生徒たちが校外に出て、家族や教員以外の人と直接関わる機会が多い印象を受けました。生徒が社会に出た時に遭遇する場面を検討し、その（疑似）機会が学校・行政・地域が連携し作り出しています。

昨年度と今回、新しくできた学校を見学して、特別支援教育は、その時代の要望を反映していると強く思いました。ただ「古いからダメだ」とは思っていません。本校のミッション「生きる力を身に付けた心豊かなたくましい社会人の育成」は変える必要はない筈です。ただ、「何を行うか」に関しては時代と共にアップデートすることが必要のように思えました。

来年度の会議は水戸市で行われます。

〈福祉分野〉教室の様子



このベッドが5台ある



とにかく教室が広い(後方壁から撮影)



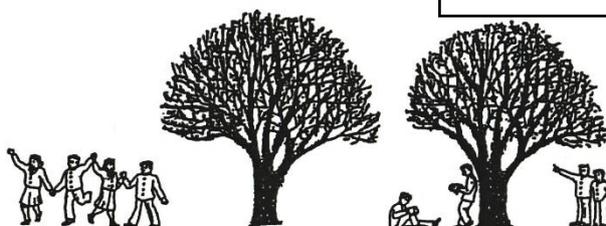
車椅子も沢山ありました。

群馬県立太田高等特別支援学校

## 校長室通信

## 2本のケヤキ

第153号（令和6年10月15日）



On Friday, October 4, we visited Utsunomiya Aoba High School, a special needs school in Tochigi Prefecture. Every year at this time, there is a meeting of the principals of high schools for special needs, and last year we visited Momokadai Gakuen in Yamanashi Prefecture. This year, we would like to introduce the host school, Aoba High School.

Aoba High School is the only special needs school in Tochigi Prefecture that opened in April 28, and is celebrating its ninth year this year. The school building is located on the site of the relocation of Utsunomiya Technical High School, and is surrounded by a quiet residential area. Ichijo Junior High School is also located on the school grounds, and the playground is shared by both schools.



Left: Aoba High School, Right: Ichijo Junior High School The central school yard is shared by the two schools.

The school has a capacity of 80 students, and this year there are 233 students, making it a large school with 10 classes. Students come from all over the prefecture, including Utsunomiya City, Nikko City, Oyama City, Nasushiobara City, and Ashikaga City. There are no school buses. The curriculum is divided into two courses, "Distribution and Environment" and "Food and Welfare" from the second year, with specialized subjects being conducted for 16 hours per week (1st and 2nd grades) and 14 hours per week for 3rd years. This time, I was not able to observe the classes of specialized subjects because it was just before the on-site training, but I would like to introduce the facilities and activities of the school.

#### 〈Food Course〉

The most surprising part of this visit was the activities of the food course. Aoba High School makes bread and sweets and sells them at the school's

community shop, Kyonomori. The shop is a separate building facing the road, and there is also a parking lot for the general public. The students share the cooking and sales duties, and they also work on customer service. We also sell bread to the nearby Utsunomiya Girls' High School.

#### 〈Welfare Course〉

In the welfare course, practical training is provided in housework assistance and elderly care. The large training room is equipped with a reclining bed and wheelchair for specific practical training.

#### 〈Distribution Course/Office Group〉

In the Distribution Course, class printouts and notices are printed in the school, and the Purchasing Department is in charge of product management. In

cooperation with a nearby convenience store, we also sell products that have been ordered in advance.

#### 〈Environmental Course/Cleaning Team〉

The cleaning team conducts practical training using equipment for building maintenance. First-year students are practicing at the adjacent junior high school, and second- and third-year students are practicing at the prefectural office and JR Utsunomiya Station.

#### 〈Environmental Course, Horticulture Team〉

In the horticulture group, students focus on the production of flower seedlings and interact with local shopping streets.

<Welfare Field> Classroom



There are 5 of these beds



Anyway, the classroom is large (taken from the back wall)



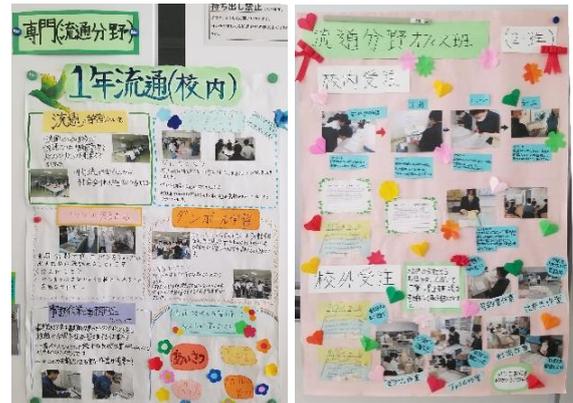
There were a lot of wheelchairs.



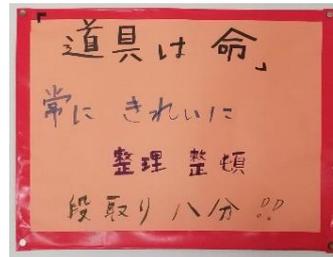
Community Shop "Kyo no Mori"



Sales Training Room



There are many handmade posters in the school



Found in the classroom of the cleaning team (left), toilet procedure



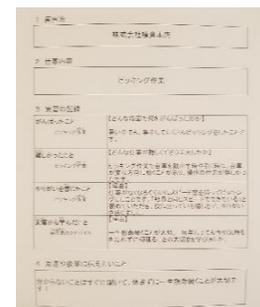
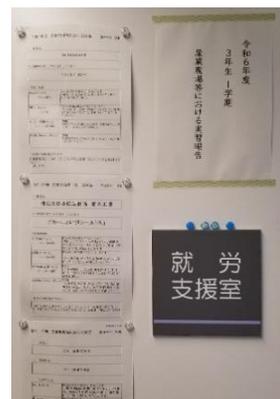
How to make bread and Kyo no Mori's Menu



Since there are no fields, the gardening team focuses on flowers and plants



In cooperation with Utsunomiya City, a PC arrives.



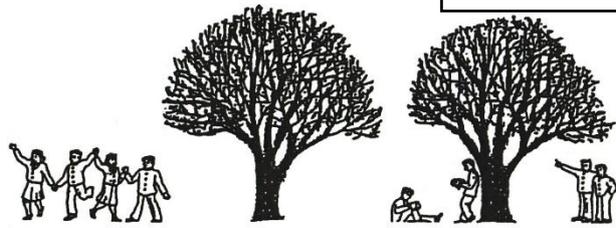
In the Employment Support Office, practical training reports are posted all over the wall.

群馬県立太田高等特別支援学校

## 校長室通信

## 2本のケヤキ

第153号 (令和6年10月15日)



El viernes 4 de octubre, visité la escuela secundaria Utsunomiya Aoba, una escuela de necesidades especiales en la prefectura de Tochigi. Todos los años por estas fechas, se celebra una reunión de los directores de las escuelas secundarias para personas con necesidades especiales, y el año pasado visitamos Momokadai Gakuen en la prefectura de Yamanashi. Este año, nos gustaría presentar la escuela anfitriona, Aoba High School.

La escuela secundaria de Aoba es la única escuela de necesidades especiales en la prefectura de Tochigi que abrió sus puertas el 28 de abril y este año celebra su noveno año. El edificio de la escuela está ubicado en el sitio de la reubicación de la Escuela Secundaria Técnica de Utsunomiya, y está rodeado por una tranquila zona residencial. La escuela secundaria Ichijo también se encuentra en los terrenos de la escuela, y el patio de recreo es compartido por ambas escuelas.



Izquierda: Aoba High School, Derecha: Ichijo Junior High School El patio central de la escuela es compartido por las dos escuelas.

La escuela tiene una capacidad de 80 estudiantes, y este año hay 233 estudiantes, lo que la convierte en una escuela grande con 10 clases. Los estudiantes provienen de toda la prefectura, incluidas las ciudades de Utsunomiya, Nikko, Oyama, Nasushiobara y Ashikaga. No hay autobuses escolares. El plan de estudios se divide en dos cursos, "Distribución y Medio Ambiente" y "Alimentación y Bienestar" a partir del segundo año, con asignaturas especializadas que se realizan durante 16 horas semanales (1º y 2º grado) y 14 horas semanales para 3er año. Esta vez, no pude observar las clases de materias especializadas porque fue justo antes de la capacitación presencial, pero me gustaría presentar las instalaciones y actividades de la escuela.

〈Curso de comida〉

Lo más sorprendente de esta visita fueron las

actividades del curso de gastronomía. La escuela secundaria Aoba hace pan y dulces y los vende en la tienda comunitaria de la escuela, Kyonomori. La tienda es un edificio separado que da a la carretera, y también hay un estacionamiento para el público en general. Los estudiantes comparten las tareas de cocina y ventas, y también trabajan en la atención al cliente. También vendemos pan a la cercana escuela secundaria femenina de Utsunomiya.

〈Curso de Bienestar〉

En el curso de asistencia social, se imparte formación práctica en asistencia en las tareas domésticas y cuidado de personas mayores. La gran sala de formación está equipada con una cama reclinable y una silla de ruedas para una formación práctica específica.

〈Curso de Distribución/Grupo de Oficina〉

En el Curso de Distribución, las impresiones de las clases y los avisos se imprimen en la escuela, y el

Departamento de Compras se encarga de la gestión de los productos. En cooperación con una tienda de conveniencia cercana, también vendemos productos que se han pedido con anticipación.

〈Curso de Medio Ambiente/Equipo de Limpieza〉

El equipo de limpieza lleva a cabo una formación práctica sobre el uso de equipos para el mantenimiento de edificios. Los estudiantes de primer año están practicando en la escuela secundaria adyacente, y los estudiantes de segundo y tercer año están practicando en la oficina de la prefectura y en la estación JR Utsunomiya.

〈Curso de Medio Ambiente, Equipo de Horticultura〉

En el grupo de horticultura, los estudiantes se enfocan en la producción de plántulas de flores e interactúan con las calles comerciales locales.

Aula <Campo de Bienestar>



Hay 5 de estas camas



De todos modos, el aula es grande (tomado de la pared del fondo)



Había muchas sillas de ruedas.



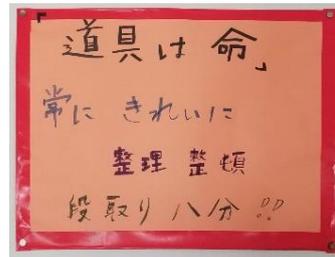
Tienda comunitaria "Kyo no Mori"



Sala de Formación en Ventas



Hay muchos carteles hechos a mano en la escuela



Se encuentra en el aula del equipo de limpieza (izquierda), procedimiento del baño



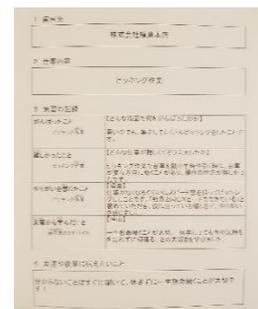
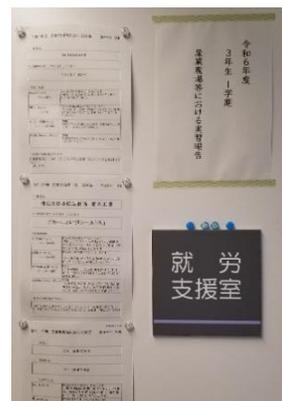
Cómo hacer pan y el menú de "El bosque de hoy"



Como no hay campos, el equipo de jardinería se centra en las flores y las plantas



En cooperación con la ciudad de Utsunomiya, se entregará una PC.



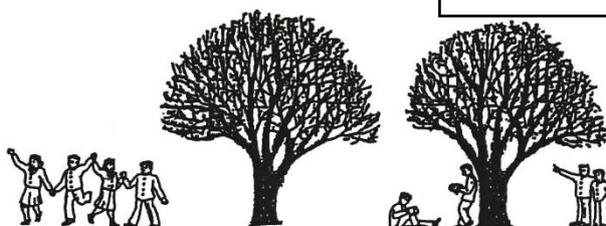
En la Oficina de Apoyo al Empleo, los informes de formación práctica están colgados por toda la pared.

群馬県立太田高等特別支援学校

## 校長室通信

## 2本のケヤキ

第153号 (令和6年10月15日)



Na sexta-feira, 4 de outubro, visitei a Escola Secundária Utsunomiya Aoba, uma escola para necessidades especiais na província de Tochigi. Todos os anos, nesta época, há uma reunião dos diretores de escolas secundárias para necessidades especiais e, no ano passado, visitamos Momokadai Gakuen, na província de Yamanashi. Este ano, gostaríamos de apresentar a escola anfitriã, Aoba High School.

A Aoba High School é a única escola para necessidades especiais na província de Tochigi que foi inaugurada em 28 de abril e está comemorando seu nono ano este ano. O prédio da escola está localizado no local da realocação da Escola Técnica de Utsunomiya e é cercado por uma área residencial tranquila. A Ichijo Junior High School também está localizada no terreno da escola, e o playground é compartilhado por ambas as escolas.



Esquerda: Aoba High School, Direita: Ichijo Junior High School O pátio central da escola é compartilhado pelas duas escolas.

A escola tem capacidade para 80 alunos, e este ano são 233 alunos, tornando-se uma escola grande com 10 turmas. Os alunos vêm de toda a província, incluindo a cidade de Utsunomiya, a cidade de Nikko, a cidade de Oyama, a cidade de Nasushiobara e a cidade de Ashikaga. Não há ônibus escolares. O currículo é dividido em duas disciplinas, "Distribuição e Meio Ambiente" e "Alimentação e Bem-Estar" a partir do segundo ano, com disciplinas especializadas sendo ministradas por 16 horas semanais (1º e 2º anos) e 14 horas semanais para o 3º ano. Desta vez, não pude observar as aulas de disciplinas especializadas porque foi pouco antes do treinamento presencial, mas gostaria de apresentar as instalações e atividades da escola.

〈Curso de comida〉

A parte mais surpreendente desta visita foram as

atividades do curso de comida. A Aoba High School faz pão e doces e os vende na loja comunitária da escola, Kynomori. A loja é um prédio separado de frente para a estrada, e também há um estacionamento para o público em geral. Os alunos compartilham as tarefas de cozinha e vendas e também trabalham no atendimento ao cliente. Também vendemos pão para a vizinha Utsunomiya Girls' High School.

〈Curso de Bem-Estar〉

No curso de bem-estar, é fornecido treinamento prático em assistência ao trabalho doméstico e cuidados com idosos. A ampla sala de treinamento está equipada com uma cama reclinável e cadeira de rodas para treinamento prático específico.

〈Curso de Distribuição/Grupo de Escritório〉

No Curso de Distribuição, as impressões e avisos das turmas são impressos na escola, e o Departamento de Compras é responsável pelo gerenciamento do produto.

Em cooperação com uma loja de conveniência próxima, também vendemos produtos que foram encomendados com antecedência.

〈Curso Ambiental/Equipe de Limpeza〉

A equipe de limpeza realiza treinamentos práticos utilizando equipamentos para manutenção predial. Os alunos do primeiro ano estão praticando na escola secundária adjacente, e os alunos do segundo e terceiro ano estão praticando no escritório da prefeitura e na Estação JR Utsunomiya.

〈Curso Ambiental, Equipe de Horticultura〉

No grupo de horticultura, os alunos se concentram na produção de mudas de flores e interação com as ruas comerciais locais.

〈Campo de Bem-Estar〉 Sala de aula



Existem 5 dessas camas



De qualquer forma, a sala de aula é grande (tirada da parede dos fundos)



Havia muitas cadeiras de rodas.



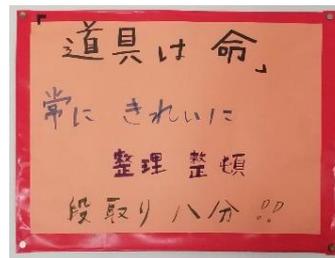
Loja Comunitária "Kyo no Mori"



Sala de Treinamento de Vendas



Existem muitos cartazes feitos à mão na escola



Encontrado na sala de aula da equipe de limpeza (à esquerda), procedimento de banheiro



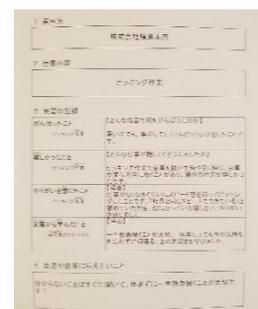
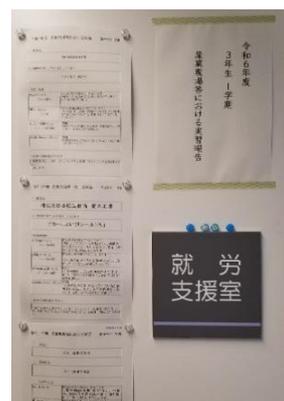
Como fazer pão e o cardápio da "Floresta de Hoje"



Como não há campos, a equipe de jardinagem se concentra em flores e plantas



Em cooperação com a cidade de Utsunomiya, um PC será



No Gabinete de Apoio ao Emprego, os relatórios de formação prática são afixados por todo o muro.